

草原浴、ジオセラピーなどアイデアも

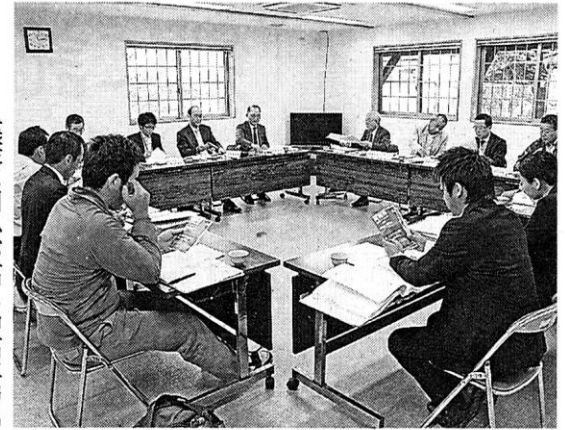
健康に関心が高い中高年層の集客を図ろうと、阿蘇市は全国に先駆けて「健康づくりの郷」事業に取り組む。温泉を軸に、森林浴や田園浴など自然の素材を組み合わせた体験プログラムを提供。旅行者に心と体を癒やしてもらい、11月中旬までに企画をまとめ、利用を呼び掛ける。

社団法人「民間活力開発機構」の呼び掛けに応じ、静岡県伊豆市とともにモデル事業として取り組む。予算は1200万円(うち市負担580万円)。

阿蘇市 「健康づくりの郷」事業 中高年層の集客を狙う

20日は観光協会や旅館組合の代表らが出席して実行委員会があり、企画内容を協議。委員からは「阿蘇の草原浴はよそにできない体験」「地球の息吹を感じる火口周辺散策をジオセラピーと名づけて売り出そう」などのアイデアが出された。

今後は、市内の温泉施設を泉質ごとに分類するほか、食事や運動、自然環境などさまざまなメニューを紹介するパンフレットも作成予定。インターネットでも情報発信する。(三賀山雄三)



阿蘇市「健康づくりの郷」の企画内容を話し合う実行委員会のメンバーら
=阿蘇市